

小学校「英語」
教員が研修会

愛教大

四月から小学校の外国語活動で使われる新教材を使った、教員向けの研修会が十日、刈

谷市の愛知教育大であり、県内外から約三百人が参加した。写真。

愛教大などでつくる実行委員会の主催。小学校では、五、六年生の外国語活動が二〇二〇年度、教科「英語」に格上げされる。それに先立ち、一八、一九

年度は三、六年生で外国語活動を拡充。教科

化に向け「読む」「書く」の要素を入れた新教材が導入される。

この日は、小学校の教師四人が、参加者を児童に見立てて、外国語活動の指導を上演。

大府市大府小学校の柳田真弥教諭は、五年生の新教材に載っている、文房具を題材に前置詞を学ぶ単元を、英語で授業した。英語での問いと答えが録音されているデジタル教材も使った。

参加した教員は「ジェスチャーを効果的に使っていて参考になった」「これからの授業のイメージができた」と話していた。

